

LS1J スイッチフィーリング・接触抵抗試験 Windows対応標準データ処理ソフトウェア

スイッチフィーリング試験ソフトの主な特長 (Windows 98・Me・NT・2000・XP対応)

- (1) PCにRS232C又はUSBとも両方接続し使用可能です。
- (2) 押し切り・PEAK・BOTTOM・R. BOTTOM・ON-ST (ON荷重/ストローク・OFF荷重/ストローク)・ON-R (オン抵抗値) の荷重・変位 及び CLICK. RATE (%) の測定ができます。
- (3) 100ms (0.1秒) ~10ms (0.01秒) でのサンプリングタイムの全ポイント数の平均値・MAX・MIN値の測定が出来ます。(100・50・40・30・20・10ms の6段階の選択可能)
- (4) 2ポイントの平均値 又は 全ポイントの平均値のどちらか選択測定可能。
- (5) 試験データを受信しながらPCの画面にグラフ及びMAX・MIN・平均値の測定データがリアルタイムで表示できます。(リアルタイム表示機能)
- (6) 有効範囲を設定することにより (開始位置と終了位置) その有効範囲内のMAX・MIN・平均値 (全ポイント数) を保存できます。
- (7) デジタルアンプからの試験データ (荷重値、時間値) は、メモリ上の試験データ格納領域に格納されます。
- (8) 試験データ格納領域は100個あります。従ってディスクへの保存なしに試験データを100回までメモリ上に保持できます。
- (9) サンプリングタイムの設定を 10・20・30・40・50・100ms の6種類から選択できます。
- (10) グラフにクロスカーソルを表示し、クロスカーソルを移動しながら荷重値及び変位値を読み取ることができます。(グラフ読み取り機能)
- (11) 複数回行った試験データを重ねてグラフに表示することができます。(重ね表示機能)
- (12) グラフはクリップボードにコピーすることができます。従って、クリップボードを経由してWordやExcelにグラフを張り付けることができます。(クリップボードコピー機能)
- (13) 試験データはハードディスクやCDRに保存できます。また、保存したファイルを読み込み、グラフを表示することができます。(ファイル入出力機能)
- (14) ハードディスクやフロッピーディスクに保存するときにファイル名の拡張子を".csv"とすることで、Excelに読み込むことができます。
- (15) PCから次の引張圧縮試験機の動作を行うことができます。(引張圧縮試験機制御機能)
引張試験開始、圧縮試験開始、スタンド移動 (上/下)、スタンド停止、荷重値ゼロリセット、変位値ゼロリセット
- (16) PCに最大100件まで試験条件の登録が出来、一度登録すれば品番等呼び出し試験制御が出来ます。(試験条件の登録・削除・上書き機能)
- (17) 試験のモード、レンジ、試験条件等のデフォルト値を変更することができます。(デフォルト変更機能)

